

ぶどう冷凍加工施設の視察

北信地域は県内でも有数の果物の産地で、ぶどうやりんごを中心に様々な果物が出荷されています。

生産過程において、味は変わらなくても、粒の大きさの不揃い、色づきや形が悪い果実が一定程度発生してしまい、これらの果実は安価での販売や廃棄されているのが現状です。

今回、このような果実を冷凍加工し、新たな商品とすることで、食品ロスの削減と生産者の所得向上に取り組んでいる事業者との意見交換を行いました。



事業者から冷凍加工技術や事業展開について説明を受け、意見交換する様子



冷凍加工された製品



試食の様子